

# 図書館だより

読書感想文コーナーができました!



青少年読書感想文全国コンクールの課題図書が3冊、仲間入りしました♪  
『150字からはじめる「うまい」と言われる文章の書き方』など、参考になる本も一緒に展示しています。こころに残ったその気持ち、書いてみよう!

池田高等学校 辻校 2021年 7月号

今月のオススメ

美しき 緑はしれり 夏料理 星野立子



七月の季語のひとつ、“夏料理”。キュウリやそうめんのあしらいに敷かれた青もみじなど、さわやかな緑色が目に浮かぶ一句ですね。そこで、今月は“料理”をテーマにした図書を紹介します。

「冷たい何も知らない鶏肉に、お醤油を全員に気付かれるくらいの量を、無邪気にこんちくしょうと混ぜてくださいー」。鶏の唐揚げをはじめ、ハンバーグ、しゅうまいなどの作り方を、物語のように綴った超感覚レシピ本。滝沢 カレン【著】『カレンの台所』。

……暑さに負けない夏メシ、作ってみませんか。

7月の開館日

開館日	1日(木) 5日(月) 7日(水) 9日(金) 13日(火) 15日(木)
閉館期間	7月21日(水)～8月31日(火)
開館時間	10:15～16:45

## 利用案内

～夏休みの図書館について～

【貸出期間】 7月13日(火)～9月3日(金)まで

【貸出冊数】 ひとり5冊まで

返却期限日!



「あの夏、あの本を読んだなあ」…記憶に残る読書になりますように♪

新着図書案内



『水を縫う』 寺地 はるな【著】 集英社

【第9回 河合準雄物語賞受賞作品】

「男なのに」刺繍が好きな弟の清澄。「女なのに」かわいいものが苦手な姉の水青。「愛情豊かな母親」になれなかったさつ子。「まっとうな父親」になれなかった全と、その友人・黒田。「いいお嫁さん」になるよう育てられた祖母・文枝。普通の人なんていない。普通の家族なんてない。世の中の“普通”を踏み越えていく、6人の家族の物語。



『兄の名は、ジェシカ』 ジョン・ボイン【著】 あすなろ書房

14歳のサムヒーローは兄だった。その兄が家族に向かって自分は「トランスジェンダー」だと告白した。閣僚の母親はうろたえてしまい……。誠実に、ときにはコミカルに、LGBTの若者の思いをさわやかに描いた青春小説。



『科学者になりたい君へ』 佐藤 勝彦【著】 河出書房新社

「14歳の世渡り術」シリーズ。宇宙の果て、生命の謎、コンピューターサイエンスに関心を抱き、研究職を目指す人へ。どうすれば科学者になれるのか?「科学」を見る目がガラッと変わる、サイエンスに興味がある人も、ない人も、全ての人に必読の書!日本の科学研究を牽引した元東大教授、元日本物理学会会長の著者がその扉を開く。

このほかにも、胸を熱くする本がみなさんをお待ちしています♪ ぜひ会いに来てくださいね!